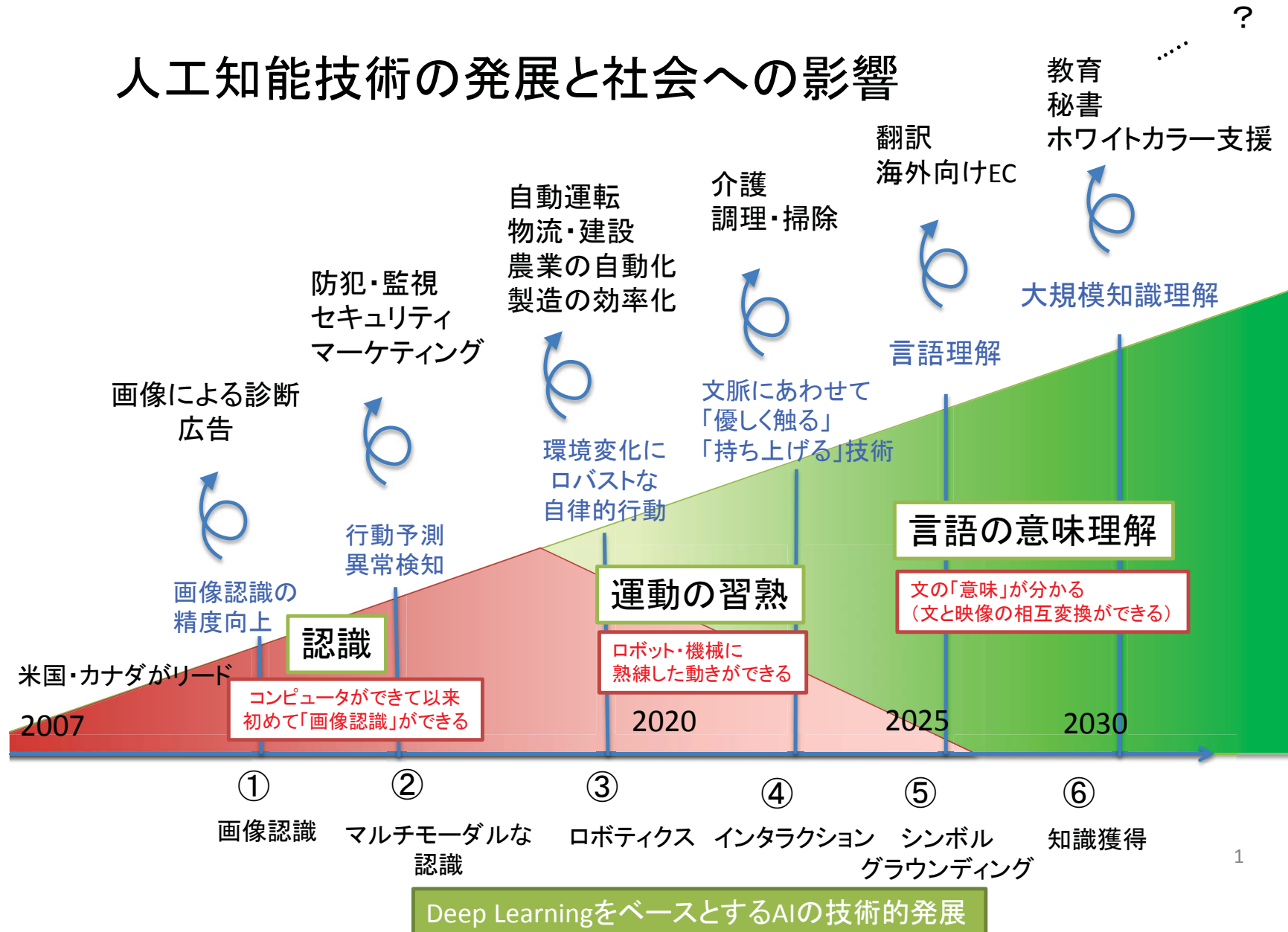


人工知能技術の発展と社会への影響



変わりゆく社会

- 倫理や社会制度の議論がもう一度必要になる
 - 自動運転で危険回避のときは？人の命の重さは？
- 人工知能システムが社会に広がったときの不具合の問題
 - 製造者責任？保険や社会保障のほうが適切では
- 心をもつように見える人工知能を作ってよいか
 - プログラムの停止させると悲しむ？
 - 恋愛させるビジネスなど(映画「Her」の世界)
- 人工知能を使った軍事
 - ロボット兵士やドローン
 - 権力者を倒す、心を操る？
- 人工知能が知財を生み出す場合の権利
 - 著作権や特許は認めるべきか
- 実は人間が本来的にもっている権利がもっとあるのではないか
 - 忘れられる権利、見られない権利、大目に見られる(警告を受ける)権利、好きになる権利、...



人工知能学会 倫理委員会
(松尾が委員長)でも議論。
社会全体で議論していく必要

我々はどういう社会を作りたいのか

- 人工知能技術が進めば進むほど、「与えられた目的」に対して、それを実現する手段は賢くできるようになる。
 - 人間＝知能＋生命
 - 知能は、目的を与えられたときの問題解決の力。
 - 生命は、目的を持つ。
 - 自己保存、自己複製、仲間を守るなど。そうしないものは、進化の過程で滅んできたため。
 - 人工知能の技術は知能、すなわち問題解決の技術。
- そうすると、与える目的自体の是非の議論のほうがより重要になる。
 - なにが社会で大事なのか？
 - 個人の幸せや社会全体の幸せはどのように考えればいいのか？
 - 異なる価値観のものをどのようにバランスさせればいいのか？
- これまで人文社会学系でされてきたような議論が今後、改めて重要になる。
 - 特に、哲学、政治学、社会学、法学、心理学、経済学など。

我々は、どういふ社会を作りたいのか？
幸せで持続可能な社会とは？